

令和2（2020）年度決算審査
施策・事務事業評価

柏崎市議会

○令和2（2020）年度決算審査 施策・事務事業評価について

柏崎市議会では、決算審査と併せて、施策・事務事業評価を行っています。

この取組は、より広い視野で市が執行した事務を議会で評価し、翌年度以降の施策実現と政策実現に向けた事業の見直し等を提案することを目的としたものです。

令和3（2021）年度は、6月7日に新たに設置した予算決算常任委員会の3つの分科会（総務・文教厚生・産業建設）において、下表の主要施策及び事務事業を評価対象に選定し、各会派がそれぞれ評価を実施した上で、9月15日、16日、17日の各分科会で評価対象事務事業を所管する部課長等からの説明、質疑を経て、9月28日、9月30日、10月4日の各分科会作業部会において、各分科会としての評価を決定するとともに、別紙の評価シートの作成を行いました。

この評価結果については、10月7日の予算決算常任委員会において各分科会長から報告を受け、これを全会一致で了承した上で、翌8日の本会議において予算決算常任委員長が報告しております。

分科会名	評価対象施策	評価対象事務事業
総務	産業の創造性と技術力を高める	次世代エネルギー活用推進事業
		次世代エネルギー活用研究事業
文教厚生	出会いの場を感じる環境を整備する	結婚活動応援事業
	安心して子育てができる環境を充実させる	ファミリーサポートセンター事業 病児保育事業
産業建設	産業の創造性と技術力を高める	工業振興事業
		人材育成支援事業

◎施策評価指数

評価A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する
評価B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要
評価C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要
評価D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務

【分科会用】 施策評価シート

(分科会名) 総務分科会

第五次総合計画上の 位置づけ (施策の体系)	②	産業・雇用 ～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2	『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3	産業の創造性と技術力を高める
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	産業の創造性と技術力を高めることは、市の成長と発展につながるものであり、柏崎市第五次総合計画の産業イノベーション戦略として、地域産業の活性化や新たな産業の創出が期待できる重要な施策であるため	

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
①	02-01-06-008-021-001	次世代エネルギー活用推進事業
②	02-01-06-008-022-001	次世代エネルギー活用研究事業
	○	○
	○	○

2 施策評価

施策評価		施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	B 評価
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

- ・電源立地地域の優位性を生かして、国の動向を調査し、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業の補助金を活用するなど、地域エネルギービジョンに掲げる「エネルギーのまち柏崎3.0」及び地域エネルギー会社の設立に踏み出して、実現につなげたことは高く評価できる。
- ・地球環境問題や柏崎市の経済を支える取組として重要な事業であり、主旨、目的の妥当性は評価できる。
- ・次世代エネルギー活用推進事業及び次世代エネルギー活用研究事業ともに、令和2年度の事業としては高く評価できるが、豊かな産業を生かし稼ぐ力を育むためには課題が多くあり、施策目標達成のためには、更なる改善が必要なため、B評価とする。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

- ・地域資源の活用や発掘が必要であるとともに、地域産業の創造・育成・活性化に結び付け、稼ぐ力を高める必要がある。
- ・地域エネルギー会社を成功させるためには、民間事業者や関係機関との連携が重要である。
- ・市民の理解を得るためには、取組の成果や研究成果、進捗を市民に公開する必要がある。
- ・地域のどの産業を育てていくのかを明確にし、地域エネルギービジョンに掲げる「地域エネルギー導入ロードマップ」の6つのモデルプロジェクトを具体的に実現する必要がある。特に、⑤柏崎市次世代エネルギー研究プロジェクトの「新たな事業」を明らかにしていただきたい。

【分科会用】 施策評価シート

(分科会名) 文教厚生分科会

第五次総合計画上の 位置づけ (施策の体系)	③	健康・福祉 ～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2	子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1	出会いの喜びを感じる環境を整備する
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	人口減少の大きな要因のひとつである少子化が進む中、子どもを産み育てやすい環境であるかどうかは出生率の向上につながるだけでなく、流出人口の抑制、流入人口の増加にもつながり得るものであり、子どもを産み育てやすい環境の充実を図ることが今後もますます重要となってくる。このことから、当該施策を選定し、本市における現状の到達度を把握する必要がある。	

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
①	01-03-01-047-013-001	結婚活動応援事業

2 施策評価

施策評価		施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	B 評価
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

少子化対策としての婚活支援は必要であり、施策の目的にもかなう。
 2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、多くのイベントが開催できず、マッチング数が伸びなかった。しかし、参加者アンケートでは結婚に向けて前向きな回答があったように、結婚を希望している人にとってはニーズがある。また、行政としての関わりがあることから、利用者の安心感、費用の負担が少ないなどメリットも多い。
 事業としての改善や見直しが必要と捉え、B評価としているが、今後も継続、推進していくべきものとする。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

さらに充実させていくため、以下のことを推進してほしい。

- ・「地域少子化対策重点推進交付金」が活用できるよう、事業の組立てを検討する。
- ・県のマッチングシステム（ハートマッチにいがた）との連携。
- ・利用者、委託事業者の報告書やアンケートにより、ニーズの把握等を行う。
- ・ウィズコロナ時代に添うように事業を工夫する。
- ・女性が参加しやすくなるよう独自の魅力を加え、広域に効果的な周知を積み重ねる。

【分科会用】 施策評価シート

(分科会名) 文教厚生分科会

第五次総合計画上の 位置づけ (施策の体系)	③	健康・福祉 ～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2	子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-3	安心して子育てができる環境を充実させる
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	人口減少の大きな要因のひとつである少子化が進む中、子どもを産み育てやすい環境であるかどうか出生率の向上につながるだけでなく、流出人口の抑制、流入人口の増加にもつながり得るものであり、子どもを産み育てやすい環境の充実を図ることが今後もますます重要となってくる。このことから、当該施策を選定し、本市における現状の到達度を把握する必要がある。	

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
①	01-03-02-01-047-002-004	ファミリーサポートセンター事業
②	01-03-02-04-050-005-001	病児保育事業

2 施策評価

施策評価		施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	A 評価
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

<p>子どもを産み育てやすい環境の充実、中でも安心して子育てができる環境整備は、人口減少及び少子化抑制には欠くことができない施策である。</p> <p>市民ニーズもあり、行政の関わりがなければ適切な支援体制や利用者の安心感などが得られず、サービスそのものを組み立てられないと捉え、施策実現に近いと判断し、A評価とした。市民への周知に加え、病院への支援を含め、この施策を継続し、さらに推進して欲しい。</p>

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

<p>さらに充実させていくため、以下のことを推進してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知、啓発活動をさらに拡充させる。 ・行政として、利用者だけではなく世代を超えた市民のニーズ、要望を報告書やアンケートを通し把握するとともに、他自治体の動向を確認する。 ・ファミリーサポートセンター事業などでは、サービスを提供する会員の確保及びその人材育成（スキルアップ等）を充実させる。 ・リスク管理として、サービス提供者、利用者とも報告書やアンケートの実施により、リスクの把握に努める。 ・医療機関との連携をさらに強化するとともに、国からの支援策がなくても、市独自の支援策を考える。

【分科会用】施策評価シート

(分科会名) 産業建設分科会

第五次総合計画上の 位置づけ (施策の体系)	②	産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2	『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3	産業の創造性と技術力を高める
施策評価対象の 選定理由 (評価のポイント)	基幹産業であるものづくり産業は、柏崎市第五次総合計画の産業イノベーション戦略として、地域産業の活性化や雇用と新たな産業の創出が期待できる重要施策となっているため、評価対象とした。	

1 施策評価のための評価対象事業

事業No.	科目	事業名
1	07-01-02-078-006-001	工業振興事業
2	07-01-02-078-014-001	人材育成支援事業
	○	○
	○	○

2 施策評価

		施策評価
評価 A	施策の実現に近づいているので、このまま推進する	B 評価
評価 B	施策の実現に近づいているが、さらに事業の改善・見直しが必要	
評価 C	施策目的の実現に近づいていないので、分析と見直しが必要	
評価 D	施策目的の実現に近づいていないので、抜本的改善が急務	

3 施策評価に対する具体的な評価の記述

・事業の周知が進み、先端設備等の導入促進による生産性向上や固定資産税の軽減措置、各種助成金の交付により事業者の負担軽減が図られている。
 ・ものづくりマイスターカレッジの開講、高度技術者育成推進助成金の交付により人材育成が行われている。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しても、示された数値からは地域産業の活性化や雇用と新たな産業の創出について十分な成果があったとは判断できない。

4 施策実現と政策実現に向けた今後の提案

(見直し事業名や予算・人員の増減等にも言及のこと)

・大学生に対する企業見学会が進路選択の候補に市内企業を加えさせる有効な手段と考えるため、今後もこの事業を有効活用し、DXの推進による人材不足への対応、工業のみならずIT企業や他の産業に関しても、経営基盤の強化支援拡大が必要である。
 ・インターンシップは実施が見送られたことから、一堂に集まるのが難しい時代に即したオンラインなどを活用されたい。
 ・ものづくり産業の技術力向上や人材確保、人材育成、企業支援、企業誘致等、新たな産業の創出のためにも両事業は引き続き取り組まれない。